

平成29年2月
九州森林管理局

熊本地震の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について

熊本地震により被災した熊本県においては、復旧・復興事業等により工事量が増大し、ダンプトラック等の不足により標準積算基準と施工実態との間で乖離（作業日当たりの作業量の低下）が生じていることが確認された。

そのため、下記のとおり、当面の運用を定めたのでお知らせいたします。

記

1. 適用対象工事

熊本県で実施される工事で、平成29年2月1日以降に契約締結を行う工事

2. 補正方法

(1) 土工に関する作業量の補正

【補正歩掛】 土工に関する作業量の補正

【補正内容】 標準作業量を20%低下する補正

詳しくは林野庁ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/j/sekou/gijutu/attach/pdf/sekisan_kijun-88.pdf

(2) 間接工事費の補正

【対象工事】 全て

【補正係数】 「森林整備保全事業設計積算要領」等により各工種区分に従って対象額毎に求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ次の補正係数を乗じるものとする。

共通仮設費：1.1 現場管理費：1.1

3. 適用にあたって

(1) 平成29年2月1日以降に入札手続きを開始する工事

当該補正を行って積算を行う工事であることを明記し、予定価格の積算にあたっては、本通知に基づき算出すること。

(2) 平成29年2月1日時点において入札手続き中で未契約の工事

契約後、受注者に本通知の適用対象工事である旨を説明し、受注者が本通知に基づく変更を希望する場合は、次の変更契約手続きまでに変更契約を行うこと。

(3) 本通知は、平成30年3月31日までに入札締切日を設定する工事に適用する。